

【月案】 9月・1歳児

今月の保育のポイント

- 生活、食事、排泄のリズムや自立度合いなどが、夏休みの過ごし方によって変化があることを予測しておく。不規則になったリズムを整え、健康的に安定して過ごせることをねらいとする。
- 自己主張が強くなってきた子どもについては、自我の成長の一環と捉え、自分であることを尊重しながら折り合いをつけて生活を進める。
- 食材の好き嫌いが出始める時期。細かく刻むなど、調理を工夫し、テラスや屋外で給食を楽しむ等、楽しんで食事が摂れるように工夫する。お腹がすくように、午前中身体をたくさん動かして遊ぶ環境を保障する。
- 歩く、跳ねるような動作、斜面をよじ登るなど、十分に体を動かす遊びを、個別の運動能力に合わせて援助しながら展開していき、子どもの情緒を満たしていく。

月のねらい

- 生活のリズムを整え、健康に過ごす。
- 遊びを通して保育者や友達と関わり、親しみを持つ。
- 自然に触れ、草花や生き物に興味を持つ。
- 十分に身体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
- 自ら意欲的に食事を進めようとする。
- 厳しい残暑を心地よく健康に過ごせるようにする。
- 自我の芽生えを丁寧を受け止め、安定して過ごせるようにする。
- 戸外遊びや散歩を通して、季節の移り変わりを感じる。
- 自分の思いを単語や行動で伝え、伝わる喜びを感じる。
- 保育者に見守られながら簡単な着脱に取り組む。

週のねらい

その1

- 1週目：園生活のリズムを整え、元気に過ごす（養護）
- 2週目：保育者や友達との関わりを喜び、楽しく遊ぶ（教育）
- 3週目：戸外で秋の自然に触れ、植物などに興味を持つ（教育）
- 4週目：身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう（教育）

その2

- 1週目：保育者と一緒に体を動かして遊ぶ（教育）
- 2週目：残暑のなかでも水分補給をしたり休息を取ったりしながら健やかに過ごす（養護）
- 3週目：保育者や友だちとかわりながら遊ぶことを楽しむ（教育）
- 4週目：保育者との簡単な会話や言葉のやり取りを楽しむ（教育）

その3

- 1週目：安心した気持ちで自分の気持ちを単語や行動で表す（教育）
- 2週目：夏の疲れに留意しながら、心地よく過ごせるようにする（養護）
- 3週目：指先を使った遊びに興味を持ち、遊ぶことを楽しむ（教育）

- 4週目：保育者と一緒に見立て遊びを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：自己主張する姿を丁寧に受け止め、情緒の安定を図る（養護）
- 2週目：ズボンやエプロンの着脱、片付け等簡単な身の回りのことに取り組もうとする（養護）
- 3週目：音楽に合わせて体を動かしたり、手遊びや歌を楽しむ（教育）
- 4週目：絵本や紙芝居に親しみ、繰り返される場面や言葉のリズムを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 食事の前には、手を合わせたりお辞儀をしたりして挨拶のしぐさをしている姿が見られた。
- 保育者に励まされながらスプーンを使い、すくって自分で食べようとする子どももいるが、なかなか上手くすくえず手掴みで食べ進める子どももいる。
- 汗をかいた時には保育者に手伝ってもらいながら意欲的に着替えを行う子どもも増えてきた。また、着替えを自分の棚から出そうとしたり片付けたりしようとする姿も見られた。
- 保育者に声をかけられると意欲的にトイレに向かうようになってきている。タイミングが合うとおまるでの排泄に成功する子どももいるが、オムツに出ている子どもも多い。
- 暑さに負けず活発に遊ぶが、疲れから食事中に眠くなってしまったことがあった。
- 簡単な着脱に取り組もうとする。中々できないと服を投げたり、泣いたりすることがある。
- 水分補給で十分な水分を摂れる子、飲むことを嫌がる子がいた。飲む環境を変えると飲むことができることも多い。
- 小まめな着替えや汗拭きを行っていても、汗疹やとびひになってしまう様子が見られた。受診してもらったことで症状は良くなった。

教育（遊び）

- 保育者が作ったシャボン玉に興味を持ち、追いかけたり触ったりしようとして楽しんでた。
- 水遊びや泥遊びでは、初めは触るのを嫌がっている子どももいたが、回数を重ねるうちに慣れ、楽しく遊ぶ姿が見られるようになってきている。また、水遊びでは、溜めてある水に入るのを嫌がるが水には喜んで触れる、など一人ひとり楽しみ方が異なる姿がある。
- うまく歩けるようになった子どもは、保育者に手を引かれながら意欲的に階段も上り下りしている。自分で登りたい気持ち強い子どもは手を払って手すりを持ちながら一人で登ろうとすることもある。
- 取って欲しいものややってほしいことがあると、指差しなどで伝えようとする姿が見られる。うまく保育者に汲み取ってもらおうと、満足そうな表情が見られた。
- 親しみのある音楽を流すと楽しそうに身体を動かしたりニコニコしたりする姿が見られた。
- 夏祭りに興味を持ち、異年齢児の様子をじっと見つめたり、真似をして体を動かしていた。
- 友達が遊ぶ様子に興味があり、玩具の取り合いになることが増えてきた。
- 夏野菜に興味を持ち、見たり触れたりすることを楽しんでた。
- 滑り台を滑ったり、低い段差から保育者と一緒にジャンプすることを繰り返し楽しむ。
- 絵本を見たり、触れ合い遊びをすることを喜び何度も要求する。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：保育者に手伝ってもらいながら、口や手を拭いて清潔にしようとする。（健康）
環：口や手を拭いた時には、「キレイになったね」「気持ちいいね」など子どもが清潔にした心地よさに気付けるように声をかけていく。
- **活**：手洗いのやり方を知り、自分でやってみようとする。（健康）
環：子どもと一緒に手を洗い、やり方を一人ひとりに繰り返し伝えていく。袖をまくれないうちもやうまく洗えない子どもがいれば、一緒に手を添えて洗うようにする。
- **活**：尿意を感じた時には、しぐさで保育者に伝えようとする。（健康・表現・人間関係）
環：子どもが尿意を感じているような仕草を見せた時には、気付けるようによく様子を見ておく。
- **活**：衣類や服の着脱を自分でしようとする。（健康）
環：衣類の着脱をする際には、子どもの意欲が湧くように声かけを行なっていく。子どもがスムーズに着やすいように前後を整えて準備したり、軽く手を添えたりしながら援助をしていく。
- **活**：汗をかいたり汚れたりしたら、着替えて心地よく過ごす。（健康）
環：汗で脱ぎにくく、汚れたことで着替えにとりかかること自体が不快に思う子どもに対して、早めに援助を入れるなど子どもの状態や心境を見ながら進めていく。
- **活**：スプーン、フォークを下から握って使おうとする。（健康）
環：握り方をやさしく手を添えて行い、「下から上手に持てるね」等、認める声掛けを都度行う。
- **活**：配膳を落ち着いて待ち、食事の後は口を拭くなど、流れを見通す。（健康・人間関係）
環：子どもが自分で気づいて口を拭くなどした時は認める声掛けを行い、自信を高める。
- **活**：トイレに行き、自分でズボンを上げようとする。（健康）
環：トイレに装飾を施し、子どもがトイレに行きたくするような環境をつくる。自分で行う意欲を認め、見守りながらできないところは手伝うようにする。
- **活**：夏の疲れに留意し、健康で快適に過ごせるようにする。（健康）
環：食欲低下や機嫌等に留意しながら、心地良い環境や生活リズムを整える。担任間で情報共有しながら、早期対応に努める。
- **活**：保育者と一緒に防災訓練に参加する。（環境）
環：日頃から担任間で災害時の役割や動き等を確認しておき、迅速に避難できるようにする。アナウンスやサイレン等に驚く姿を普段通りの接し方で受け止めながら抱っこやおんぶをして安心感に繋げる。
- **活**：喜んで便座に座ったり、タイミングが合えば排泄できるようになる。（健康）
環：興味や意欲を大切に、座れたことを大いに認める。又、成功した時には笑顔で大いに認めることで喜びやトイレで排泄することの意欲に繋げていく。
- **活**：行動や単語で気持ちを主張し、保育者に受け止めてもらいながら安定して過ごす。（人間関係・表現）
環：「～したかったね」と伝えたいことを複数パターン予想して代弁し、気持ちを尊重したり、場面に応じて気持ちの切り替えが出来るよう関わりながら、伝わる喜びや安定感に繋げる。
- **活**：保育者が側につくと安心して再入眠し、十分に体を休める。（健康・人間関係）
環：目覚めてしまった時は睡眠の環境を見直し、優しく体をさすったり、子守歌をうたったりしながら再度入眠できるよう関わる。
- **活**：朝夕のお集まりに落ち着いて参加し、読み聞かせや歌を喜んだり、名前を呼ばれたら返事をする。（人間関係・環境・表現）
環：笑顔で挨拶や点呼、読み聞かせ等を行いながら興味や参加意欲に繋げる。反応を大いに認めたり、受け止めて返答しながら関わる。

- **活**：自分の物を意識したり友達の物が分かり始める。（人間関係・環境）
環：「よくわかったね」と笑顔で認めて、所有物への意識に繋げる。間違えている時はさりげなく知らせながら、少しずつ自分と友達の物への理解に繋げていく。
- **活**：体の部位が分かり始め、自分の目や口を指差ししようとする。（健康・人間関係）
環：体に関する絵本や手遊び歌を取り入れて体への興味に繋げていく。理解してきている姿を大いに認めながら体の部位の理解や喜びに繋げる。

教育（遊び）

- **活**：遊びを通して友達や保育者と関わり、親しみを持つ。（人間関係）
環：友達となかなか関われない子どもがいたら、関わるきっかけが持てるように援助を行う。
- **活**：指先を使った遊びに取り組む。（表現）
環：遊びの中で指先を使えるように、興味が湧くような遊びやおもちゃを準備しておく。
- **活**：絵本や紙芝居などを喜んで見る。（言葉）
環：絵本は子どもも好きに触れられるよう、手の届くところにも準備する。また、子どもが自由に触れる絵本は、破れにくいものや誤飲に繋がらないような絵本を選ぶようにする。
- **活**：自分の好きな遊びを見つけ、思う存分遊ぶ。（環境）
環：好きな遊びがなかなか見つからない子どもがいたら、いろんな遊びを楽しめるように遊びを提案していく。また、保育者も一緒に楽しんで遊び、興味が湧くようにしていく。
- **活**：戸外で草花や石、生き物などに触れ、自然に興味を持つ。（環境）
環：砂や石などに連れて遊ぶ際には、誤飲や怪我のないように気をつけて見ていく。大きい石がある際には事前に子どもが触れない場所に片付けるなど配慮を行う。
- **活**：簡単な言葉のやりとりを遊びの中で楽しむ。（人間関係・言葉）
環：遊びの中で「砂がさらさらだね」「楽しいね」等、2語文ほどの声掛けをしながらやり取りを楽しむ。
- **活**：全身をのびのび動かして、一体感を楽しむなど、保育者や友達と楽しく遊ぶ。（健康・人間関係）
環：一緒の方向へ走るなど、子どもと一緒にのびのびすることを楽しみ、一体感の楽しさを伝えていく。
- **活**：絵本の読み聞かせを、内容を理解しながら見る。（言葉）
環：子どもが好きな関心のある絵本を選び、内容ややり取りを楽しめるようにする。
- **活**：絵本や歌、製作を通して秋の自然を感じる。（環境）
環：簡単な内容の絵本や親しみやすい歌を取り入れたり、発達や季節に合った製作を計画して遊びの中で自然に触れられるようにする。
- **活**：保育者と一緒に身近な見立て遊びを楽しむ。（人間関係・表現）
環：食事や睡眠、お世話等、生活の体験を取り入れた見立て遊びを行い、興味に繋がったり想像力やコミュニケーション能力を育てていく。
- **活**：手遊びや体操等、大人の真似をして体を動かすことを楽しむ。（人間関係・表現）
環：保育者が笑顔で大きく体を動かしながら楽しむ姿を示すことで興味や楽しさに繋げていく。姿を笑顔で認めて喜びに繋げる。又、体を動かす時は十分な空間を確保し、のびのびと表現出来るようにする。
- **活**：巧技台やマット等の運動用具で遊ぶことを楽しむ。（環境）
環：積極的に体を使う姿を危険のない限り見守るようにし、“出来た”という喜びや楽しさに繋げる。必要に応じて体を支えたり、危険のない遊び方を提案し安全面に留意する。
- **活**：友達と同じ玩具で遊ぶことを喜んだり、保育者に気持ちを受け止めてもらいながら玩具のやりとりをしたりする。（人間関係）
環：「○○くんと同じで嬉しいね」と言葉かけしたり、同じ玩具を提供して満足感に繋げる。1つしかない玩具を取り合う時は、一緒に遊べるような仲立ちや身振りや単語でやりとりが出来るよう丁寧に援助していく。

- **活**：保育者や友達と園外に出かけることを喜ぶ。（人間関係・環境）
環：様々な散歩のルートを下見しておく。周囲の様子に興味を持ち、指差しをしたり言葉にする姿を受け止めて、一緒に観察したり発見を代弁していく。
- **活**：太鼓や鈴、カスタネット等の音に興味を持ち、聴いたり保育者と鳴らしてみたりする。（環境・表現）
環：簡単な楽器を用意したり、手作りの楽器を製作したりする中で音への感覚を育んでいく。保育者と一緒に鳴らすことで楽しさや楽器への興味に繋げる。
- **活**：知っている物を指差ししたり言葉にしたりする。（言葉・表現）
環：「良く知ってるね」「本当だね」と笑顔で受け止めて満足感に繋げる。語彙や理解が広がるよう保育者も日頃から様々な物について知らせていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 暑い日にはシャワーを浴びたりこまめに着替えを行ったりし、心地よい状態で過ごせるようにする。
- 体調の変化に早く気付けるよう、子ども一人ひとりの普段の様子をしっかりと把握しておく。また、違和感を感じた際には保育者同士で共有し、様子を見守れるようにする。
- 戸外に出る際には帽子を被ったり水筒を準備したりすることで、熱中症を起こさないよう引き続き気をつけていく。
- 動きが活発になり思わぬ怪我に繋がってしまうことがあるため、戸外や室内の安全な環境を整え、担任間で配置の確認を行っていく。
- 友達に興味持つが関わり方が分からず強い力になってしまったり、嫌なことがあると噛みつきに繋がることがあるため留意する。
- 栄養士と連携を図りながらアレルギー食や食材の形態の確認を行う。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- ぶどうを作ろう／敬老の日のプレゼント／お月見うさぎ

歌

- こおろぎ／おおきなくりのきのしたで／つき

絵本

- おつきさまこんばんは／コップちゃん／よ・だ・れ

手遊び

- やきいもグーチーパー／大きなクリの木の下で／やさいのうた

室内室外遊び

- 色つき泡であわあわ遊び／ボールでシュート遊び／よーいどん！かけっこあそび

行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 防災の日 (9/1)
- 救急の日 (9/9)
- 敬老の日 (9/20)
- 十五夜 (9/21)
- 秋分の日 (9/23)

食育

- 保育者と一緒に楽しい雰囲気の中で食事をし、最後まで自分で食べ進めようとする。
- 本物の野菜を見たり触れたりすることを通して、食材への興味を持つ。
- スプーンを使って食べてみようとする。
- 落ち着いた雰囲気の中で座って食事を楽しむ。
- 保育者と一緒に食事前後の挨拶をする。
- 食事を通して秋の季節を感じる。

地域と家庭との連携

- 気温の変化が出てくるため、体調を崩しやすくなる時期。園での様子や家庭での健康状態をこまめに伝え合い、体調の変化がないかよく確認していく。
- 戸外遊びや運動遊びなどを行うとまだ汗もかきやすいため、着替えは多めに準備してもらいようお願いをする。また、気温に応じて衣類の調節がしやすいように準備もしてもらう。
- 防災訓練には家庭の人にも協力してもらえるように、前もって参加をお願いしていく。
- 園で遊ぶ姿や生活している姿を掲示したり、送迎時に詳しく伝えることで安心感に繋げる。
- 引き続き、シャワーの準備とシャワーの可否についての連絡をお願いする。
- 散歩で消防署を尋ねたり、合同の防災訓練を実施する。

自己評価

- 子どもが意欲的に口や手を拭いて、清潔にしようとしていたか。
- 手洗いのやり方を知り、自分でやってみようとしていたか。
- 尿意を感じた時には、保育者しぐさや態度で伝えようとしていたか。
- 衣類や服の着脱を自分でしようとする姿が見られたか。
- 遊びを通して友達や保育者との関わりを楽しんでいたか。
- 指先を使った遊びに取り組み、楽しんでいたか。
- 絵本や紙芝居などの読み聞かせの際には、喜んで聞いたり見たりしていたか。
- 自分の好きな遊びを見つけ、思う存分遊び込めていたか。
- 残暑を心地よく過ごせるよう関わったか。
- 自我の芽生えを大切に受け止め、心の安定を図ったか。
- 自分で食べることを楽しんでいたか。
- 体をのびのびと動かして遊ぶことを楽しめていたか。
- 園外で過ごす楽しさを感じられていたか。
- 音楽や歌に合わせて体を動かしたり声を出すことを楽しめていたか。

- 秋の自然に興味を持てるよう働きかけたか。
- 災害時の対応について理解できているか。